

2. 車いす編

(2) お手伝いのポイント、気をつけること

介助をはじめるとき

1. 車いすの真後ろに立ち、両手でハンドグリップを深く、しっかりと握ります。
2. 押すときは、「押しますよ」と声をかけてから、押しはじめてください。
3. 前後左右に注意して、ゆっくり押していきます。
4. 車いすを使用する人には上半身の力の弱い人もいますので、階段や下り坂等で前かがみになる場合は、ずり落ちないように注意して介助しましょう。

注意！

- ・乗車した状態の車いすを止めたままにするときは、必ずブレーキをかけてください。
- ・急な斜面では、乗車した状態で車いすを止めないでください。
- ・車いすから手を離すときは、必ずブレーキがかかっていることを確認してください。
- ・車いすを使用する人には下半身の感覚がない人が多くいますので、足をどこかにぶつけてけがをすることがあります。動き出す前に、フットレストに足が乗っているか必ず確認してください。

人ごみの中で

人ごみの中で介助をするときに注意することは、車いす使用者のつま先が前にいる人にぶつからないようにすることです。これは介助者が車いすと前にいる人との距離がつかみにくいことが原因です。



高齢者などを介助するときには

車いす使用者が高齢者の場合は、手の位置・足の位置に気をつけましょう。「押しますよ」と声をかけても自分で動かそうとしてハンドリムをもったままの場合があります。そのまま車いすを押してしまうと手をはさんでしまう危険があります。

また、最初は平気でも、押しているうちに手をハンドリムに乗せてしまうこともあります。さらに、足の位置(フットレストにきちんと乗っているか)も同じく気を配っておく必要があります。

駐車場での思いやり

車いす利用者は、駐車場スペースに駐車し、ドアを大きく開け、車いすの積み下ろしを行い、車に乗り降りしています。

障害のない方は、障害者用駐車スペースには駐車しないようにしましょう。

